SOPHIA 110TH ANNIVERSARY 1913-2023

上智大学通信

第473号　2023年(令和5年)12月11日発行

編集・発行
上智学院総務局広報グループ
〒102－8554　東京都千代田区紀尾井町7－1
電話：03－3238－3179　FAX：03－3238－3539
www.sophia.ac.jp
[Facebook] www.facebook.com/SophiaUniversity
[X(旧twitter)] @SophiaUniv_JP

創立110周年を学生と教職員で祝う

2023年、上智大学は創立110周年を迎え、この節目を記念するさまざまな催しが行われた。10月6日は「バルーンリリースセレモニー」が実施され、1号館広場前に集まった学生たちの手から色とりどりの風船約200個が空に舞った。11月1日の創立記念日には、記念行事の先哲祭ミサ、永年勤続者表彰、創立記念プログラムが執り行われ、本学のルーツ、アイデンティティ、ミッションを再確認した。学長・理事長からのメッセージを紹介する。（関連記事8面）

創立110周年を祝うセレモニーで約200個の風船が空に舞った

人間の尊厳が尊重される社会を導く交流の場であり続ける

上智大学長　曄道　佳明

上智大学が創立110周年を迎えたことを、この大学に学び、巣立たれた皆様、大学の教育、研究、社会貢献に尽くしてくださった皆様、多種多様な形で支援をしてくださったすべての皆様、そして静かにその発展を見守ってくださったすべての方々と共に喜びを分かち合いたいと思います。

あらためまして、本学へ常に温かい眼差しを向けてくださり激励をいただいておりますことに、大学を代表して深く感謝申し上げます。

上智大学が標榜し、常に社会に発信し続けてきた教育精神“For Others, With Others”は、現代社会において、その根源的価値がさらに高まり、その意味もさらに深化を続けていると認識しています。社会変革が続き、社会構造も複雑化する現況にあって、他者に、特に弱者に寄り添う私たちの精神のように私たちは表現し、社会に具体を描き示すのかが問われているのです。

今上智大学に在籍する私たちは、この110年の間断なき歩み、そしてその積み重ねの発揮、具現化にも、創意工夫と確実な実行力が求められています。教育、研究、そして様々な社会貢献を果たす役割において、現代社会でこの教育精神をどう困難に直面しても、国際紛争に社会が動揺しても、AIが社会を席巻しても、上智大学は根底にある人間の尊厳こそが尊重される社会を導く智の交流の場であり続けたいと決意を新たにしています。

110周年にあたりSophia Qualityを追求する本学の中長期計画「グランド・レイアウト3・0―2030に向けて―」（2023年～2030年度）をスタートさせ、上智大学を、そして社会の未来を切り拓く体制を整えました。引き続き邁進してまいります。

上智のルーツに思いをはせ、希望を持ち続けよう

上智学院理事長　サリ・アガスティン

上智学院のすべての関係者、恩人、支援者の皆さんに創立110周年のお喜びを申し上げます。上智を形づくった先駆者たち、先輩たちへの感謝とともに、これまでの年月の歴史とミッションに誇りを持ちましょう。私たちのルーツに思いをはせることは、今後の挑戦に対して希望を持って取り組む力になります。

今から6年前の2017年12月18日、上智大学で「教皇フランシスコと話そう」の特別イベントが行われ、教皇と学生、教職員がビデオ会議を通じて対話をするという大変貴重な機会がありました。そこで一人の学生が教皇に、現代の若者に対する希望と関心は何か、と尋ねると教皇はすぐさま答えました。

「若い人たちは快適なところでじっとしていてはいけない。行動し、自分のルーツを大切にし、希望を持って挑戦しなさい。それが私の願いです」

また教皇は、少し慎重に、歴史やルーツはともすれば軽視されがちであると続けましたが、「皆さんのルーツには文化、歴史、家族、人間性が含まれます。黒澤明映画監督の作品、『八月の狂詩曲』を観てください。若者と年配者、彼らのルーツを反映する対話をテーマにした素晴らしい映画です。ルーツがなければアイデンティティを支えるものが何もありません。年配者と交流し、彼らがルーツを持っていることを知ってください」

創立110周年を振り返ることは、私たちのルーツ、アイデンティティ、そして精神を再確認する良い機会です。私たちがしっかりとしたルーツを持っていることを知れば、自信をもって行動し、積極的でいられるでしょう。この場を借りて、恩人や卒業生をはじめとした皆様の暖かいご支援と励ましにお礼を申し上げます。また今日の上智を作り上げてきた教職員の皆さんの絶え間ない努力にも心より感謝いたします。